

真道ゴー氏による人権講演会 ～自分らしく生きる～



令和6年10月25日（金）に、全校生徒および保護者対象に真道ゴー氏による講演会を実施しました。

周囲との違いを感じ、悩みを抱えながら生きてきた子どもの頃のこと、周囲に理解されずに死を考えるほど苦しんだ大学時代のこと、仕事で知り合った人の「自分を好きになりなさい。」や母の「人より苦勞するやろうけど、前見て生きていこう。」という言葉で、前向きに生きていこうと決めたこと、ボクシングでチャンピオンをめざす中で支えてくれたパートナーと出会い、今もともに生きていることなどを語ったゴー氏。ストレートな熱い語りに、聞いている我々は、知らず知らずのうちに引き込まれていた。

「幸せは降ってくるものではない。幸せと思う心を持っていることが大切だ。」「人と人は違って当たり前。違いを恐れず、認め合えるのが友だちである。」という言葉も心に残った。生徒たちに「自分らしい人生」に笑顔で向き合えるようエールを送ってくれる講演だった。

【生徒の感想より】

- ・真道ゴーさんの講演を聞いて、性で悩んできた人の人生について知ることができました。私が考えていたよりも昔から心は男だと気づいてなやんでいたことを知り驚きました。そして、周りにそれを隠してうそをつき過ごしていたつらかったのに、伝えたら嫌がれて、もっと苦しかっただろうと考えました。だけれど、うけいれてくれる周りの人や支えてくれる人と出会い、楽しいことを見つけチャンピオンになれるまで努力した真道ゴーさんのような人だから幸せになることができたのだと感じました。
- ・性がどうであれまずは自分が好きなように自分らしく生きることが一番大切だと思いました。カミングアウトした人の話を聞いた時にだけでなく、日常生活でも「きもっ」などの相手を傷つけてしまう言葉はよくないと改めて思いました。性の多様性をみんなが尊重できて誰でもはざかしいと思わず、自信を持って生きていけるように日頃からの行動や言葉使いに気をつけて過ごしていきたいなと思いました。
- ・もし自分がまわりと違うところがあったとしても、自分と全く同じなんて人はいないし、みんなと違うのが当たり前なんだから、まわりに無理してあわせる必要はないんだとあらためて思いました。真道さんも、昔いろんなことを経験して、それを乗り越えたから今幸せって言っていて、自分も楽しみたいと思う時もあるけど、話を聞いて頑張ろうと思いました。

- ・幸せは欲しい物を買ってもらうのが幸せ、行きたいところに連れてってもらうのが幸せではなく、自分が頑張ってきたことが報われたりすることが幸せなんだということを知りました。辛いのは自分だけではないことを知りました。人間は一人では絶対に生きていけないと知りました。
- ・同じものどうしばかりでよせ集まって、傷つけないように気をすりへらしながら一緒にいるのが「友達」ではなくて、お互いの違いを認め合って、きちんと正面から向き合える人が本当の「友達」と言えるのだとおっしゃっていてとても共感しました。うまくいなくて傷ついたり悩んだりするからこそ、その先の幸せや身近な人たちのありがたみを感じ、大切にできるということを今回の講演を通して学ぶことができました。
- ・からだの性とこころの性が違う人の話を、こんなに詳しく聞いたことがなかったので、いろいろ初めて感じるがありました。初めにゴーさんが「全部理解したとは思わないでほしい」と言っていて、自分はそんな経験をしたことがないから、辛いんだろうなと思っていたけど、自分が想像するより何倍も辛くて、いろんなものを抱えているんだろうなとわかりました。自分もしまわりの人が当事者でカミングアウトされたとして、自分がどうするだろうと思ったとき、そんなつもりはなくても知らない間にその人を傷つけていたり、どう声をかけて話せばいいかわからなくなるかとも思いました。性のことだけじゃなくて、いろんな個性を認め合えるような社会になればいいなと思います。
- ・講演の中で「周りから大切にしてもらうには自分自身を大切にしなければならない」という言葉で私自身よく自分のことより周りの気持ちを考えてしまい、我慢をしてしまうことが多かったけどこの言葉を聞いて、自分の意見・気持ちを大事にしようと思いました。
- ・本当の自分、本当の友達、本当の幸せ、それは自分でたくさんの経験をしないとみつけれないと思った。人生楽しくない、おもしろくない、幸せじゃない。そう思ったら、まず今までの当たり前をふりかえてみようと思った。私は、友達だと思える人がいたり、家族と仲良くして塾に行かせてもらったり、好きなものを買ってもらえたりする。当たり前になっているけど、当たり前じゃなくて幸せなんだなと思いました。今年受験生。初めてのことでわからないこともあるし、大変でしんどい。でも、それは自分だけじゃないし、今、がんばればいつかよかったと思えるから。しっかりふんばってがんばりたいと思った。
- ・今回の講演で性について初めて知ったことがたくさんあったし、色々なことについて考えることができました。真道さんはたくさんの悲しみ、苦しさなどを過去に経験していると分かったけど、そういう過去があったからこそ感じることもか学んだことがあって今につながっているということを教えてくださりました。「頑張りすぎるのはよくない、けど頑張ることも大事なこと」という言葉が私の中ですごく印象に残っています。
- ・教室で動画をみたり昨年 LGBTQ の勉強をしたから、大体わかると思ってたことがふきとばされました。無意識に自分でこの人は女性・男性って脳が判断していたからか、混乱してしまいました。世の中にはいろんな人がいるし、相手にカミングアウトされたときどのような言葉をかけるか、どのように接すればいいのか考えるべきだと思いました。それを間違ってしまうと、相手を傷つけたり、命を絶たせてしまうことになると思いました。まだまだわからないことだらけです。

・印象に残っている言葉は「頑張ってきてよかった」という言葉です。努力は必ずむくわれるという言葉のように時には逃げたり、あきらめたりすることも大切だけど頑張らないと何も始まらないし、自分が全部捨ててもあきらめられないことは頑張りたいと思いました。

・心に残っている言葉は、「目標をしっかり持つこと」とかつらいときは、頑張って踏ん張ることです。真道さんが先生とか親とかが自分たちに叱ってくれる理由が特に心に残りました。先輩たち（先生や親）っていうのは楽しいことやつらいことを何倍も経験しているから叱ってくれているっていうことをこれからは意識して受け入れたいと思いました。